

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	①環境保全等に対する県民参画の推進
			施策の小項目名	○産学官の連携・協働ネットワークの構築及び指針や調査結果等の情報公開
主な取組	連携・協働ネットワークづくりの推進		対応する成果指標	環境啓発活動参加延べ人数
施策の方向	<p>・県内の環境教育・環境保全活動に携わる県民、事業者、NPO、研究機関、行政が一体となった産学官の連携・協働ネットワークを構築し、各主体の情報交換や相互交流の場の創出に取り組むとともに、「生物多様性保全利用指針OKINAWA」や「レッドデータおきなわ」など県が策定した指針や調査結果を積極的に公開し、県民が容易にアクセスできるよう取り組むことで県民参画を促し、自然環境の保全等に関する計画づくりを推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県民等に対する環境教育を推進し、本県の豊かな自然環境を次世代に継承するため、令和4年度に策定した「第2次沖縄県環境教育等推進行動計画」に基づき、庁内組織からなる幹事会と各種組織から構成される協議会を設置して、進捗管理を行う。</p>	県	環境教育等推進行動計画の進捗管理		
		環境教育等推進行動計画推進協議会の開催数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/saisei/taisaku/kankyoukyouiku/0006.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 環境教育行動計画等推進事業				予算事業名 環境教育行動計画等推進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
県単等	直接実施	6,207	3,293	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	3,987
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
令和4年度の環境教育等推進行動計画の実施状況を取りまとめ、進捗管理を行った。				令和5年度の第2次沖縄県環境教育等推進行動計画の実施状況を取りまとめ、進捗管理を行う。		

活動指標名	環境教育等推進行動計画推進協議会の開催数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	回	3回	1回	1回(2回)	100.0%	順調	令和4年度の環境教育等推進行動計画の実施状況を取りまとめ、進捗管理を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>平成26年度に策定した第1次計画の計画期間が令和4年度で終了したことに伴い、最終年度である令和4年度の各施策の取組結果をとりまとめた報告書を作成した。学識経験者・民間団体・県民・県や市町村などの各組織から構成する協議会委員宛てに報告し、本県の環境教育の取組について情報共有を図ることができたことから順調と判定した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○県民一体となった環境保全体制の構築に向け、企業、大学、NPO、自治体など産学官の連携・協働のネットワークづくりに努める。 ○本協議会を通じて、関係機関と環境教育に関する連携や情報共有を図る。 ○本協議会を通じて、関係機関と環境教育に関する連携や情報共有を図る。</p>	<p>・環境保全活動団体交流イベントを開催し、県民一体となった環境保全体制の構築に向けた活動団体間のネットワークづくりを図った。 ・第1次計画における最終年度(令和4年度)の実績をとりまとめ、協議会委員宛てに報告を行い、本行動計画の進捗管理を適切に実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	豊かな自然環境を次世代に継承するため、引き続き自然環境保全に対する県民参画の推進に努めるとともに、環境保全の重要性など環境問題に対する県民の意識向上に取り組む必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	持続可能な社会の担い手づくりに通じる環境教育の取組は、SDGsの達成に向けて、必要不可欠である。
① 県の制度、執行体制(内部要因)	本行動計画を推進するため、県民・事業者・関係機関・関係団体等の協力及び連携が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	県民一体となった環境保全体制の構築に向け、企業、大学、NPO、自治体など産学官の連携・協働のネットワークづくりに努める。
② 連携の強化・改善	本協議会を通じて、関係機関と環境教育に関する連携や情報共有を図る。
⑤ 情報発信等の強化・改善	本協議会を通じて、関係機関と環境教育に関する連携や情報共有を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	①環境保全等に対する県民参画の推進
			施策の小項目名	○産学官の連携・協働ネットワークの構築及び指針や調査結果等の情報公開
主な取組	生物多様性に係る情報公開の促進		対応する成果指標	環境啓発活動参加延べ人数
施策の方向	<p>・県内の環境教育・環境保全活動に携わる県民、事業者、NPO、研究機関、行政が一体となった産学官の連携・協働ネットワークを構築し、各主体の情報交換や相互交流の場の創出に取り組むとともに、「生物多様性保全利用指針OKINAWA」や「レッドデータおきなわ」など県が策定した指針や調査結果を積極的に公開し、県民が容易にアクセスできるよう取り組むことで県民参画を促し、自然環境の保全等に関する計画づくりを推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
生物多様性保全利用指針OKINAWAやレッドデータおきなわ等の情報の公開およびデータの更新を行う。	県	生物多様性保全利用指針OKINAWAやレッドデータおきなわ等の情報の公開及びデータの更新			
		情報の公開及びデータの更新数(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(3回)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2243 】	関連URL	https://www.okinawa-ikimono.com/index.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	生物多様性地域戦略事業			予算事業名	生物多様性地域戦略事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
県単等	委託	4,430	4,609	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	4,503
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性情報プラットフォーム等の関連サイトを更新し情報公開を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性保全利用指針OKINAWAの公開に向けた調整を進め、ホームページでの公開を行う。また、引き続き関連サイトを更新し情報公開を行う。 		

活動指標名	情報の公開及びデータの更新数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	4回	4回	1回(2回)	100.0%	順調	生物多様性保全利用指針OKINAWAの公開に向けた調整を行ったほか、生物多様性情報プラットフォーム等のWebサイトの更新及び情報公開を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

生物多様性情報プラットフォームの更新を行い、目標回数を達成したことから順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○生物多様性保全利用指針OKINAWAの策定目的、利用方法、位置付けについて再度整理し、県民に対してわかりやすい周知方法について検討する。	○生物多様性保全利用指針OKINAWAわかりやすい周知方法について検討したが、年度内で調整がつかなかったため、引き続き公開に向け調整を行う。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	生物多様性保全利用指針OKINAWAの暫定版のみの公開となっており、完成版の公開に至っていない。	⑧ その他	生物多様性保全利用指針OKINAWAの策定目的、利用方法、位置づけについて昨年度の検討を踏まえ調整を進める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	①環境保全等に対する県民参画の推進
			施策の小項目名	○県民参画の仕組みづくり
主な取組	環境保全啓発事業（環境ボランティアマッチングの促進）		対応する成果指標	環境啓発活動参加延べ人数
施策の方向	・ 県内企業・団体・個人による環境保全活動の促進及びボランティア支援を推進するとともに、生物多様性の保全をはじめとする社会課題解決に多くの県民が参画できる仕組みの構築に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」のホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ(各種団体等の要望)をマッチングすることで、県民の環境保全活動への参画を促進する。	県	地域課題ニーズとボランティアのマッチングに係る実施状況を踏まえた環境ボランティアセンターの設置の検討		
		ボランティアマッチングの実施件数(累計)		
		5件	10件(15件)	15件(30件)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://kankyo-center.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費				予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	20,784	16,227	県単等	委託	18,286
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進した。				沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動団体等の情報発信を実施し、県民の環境保全活動への参画を促進する。		

活動指標名	ボランティアマッチングの実施件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	25件	14件	10件 (15件)	100.0%	順調	沖縄県地域環境センターのホームページ上で、環境保全活動を希望するボランティアと地域のニーズ (各種団体等の要望) をマッチングするため、年間を通して、環境保全活動団体の活動情報等を発信した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄県地域環境センターのホームページ上で環境保全活動団体の活動情報等を発信したところ、約290件のサイト閲覧数があった。サイト閲覧数の5%について、環境保全活動を希望するボランティアと環境保全活動団体のマッチングをすることができたとし、進捗状況は順調であると判断した。今後も継続して県民の環境保全活動への参画を促進する。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を継続して行うとともに、対象者のニーズに合ったマッチングを展開する。</p>	<p>沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を年間を通して実施し、対象者のニーズに合ったマッチングを展開した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<p>県民による地域に根差した環境保全活動への参画を促進するため、沖縄県地域環境センターを中核に据えた事業を継続して実施する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	<p>沖縄県地域環境センターのホームページを活用した情報発信を継続して行うとともに、対象者のニーズに合ったマッチングを展開する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○保全利用協定の締結促進
主な取組	自然環境の保全利用協定締結推進事業		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・環境保全型自然体験活動に係る事業者が、環境保全と利用に関するルールを事業者間で自主的に策定・締結する保全利用協定の締結促進に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
適正な環境保全と利用に関するルールとしての保全利用協定に関し、締結地区および締結候補地区のサポートや保全利用協定制度の魅力向上を図る。	県	協定の締結支援、勉強会・制度説明会の開催		
		保全利用協定新規締結地区数(累計)		
		1地区	1地区(2地区)	1地区(3地区)
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2243 】	関連URL	https://sustainable-tourism.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	自然環境の保全利用協定締結推進事業			予算事業名	自然環境の保全利用協定締結推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	9,850	6,401	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	6,215
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
保全利用協定の新規締結に向けてヒアリングや勉強会を通じた事業者支援、協定締結地域の認知拡大に向けたイベントを行った。				保全利用協定の新規締結に向け候補地区における事業者支援、既存の県知事認定地域の協定締結事業者向けにモニタリングや勉強会など通じた支援を行う。		

活動指標名	保全利用協定新規締結地区数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		2地区	1地区	0地区	1地区 (2地区)	0.0%	大幅遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県知事認定に至っていない新規締結地区は0件であるものの、審査中の協定締結地区が4件あり、各地区の代表事業者を中心に支援を継続している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ○地域毎の課題に留意しながらも、保全利用協定制度の魅力向上に向けて取り組む。 ○新規締結に向けた支援を継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内7地区でヒアリングを行い、本制度の課題などについて集約し、魅力向上の手がかりとした。 ○候補地域を選定し、座談会に参加いただくなどし、新規締結に向けて後押しする。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<ul style="list-style-type: none"> ・同一地区を利用するツアーガイド業者間の調整や、手続きの負担に見合う制度の魅力向上が重要である。 	② 連携の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地区毎の課題に留意しながらも、補助金制度の活用も含め、保全利用協定制度の魅力向上に向けて取り組む。 ・関係自治体との連携にも注力し、新規締結に向けた支援に継続して取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○環境保全意欲の醸成に向けた環境教育の充実
主な取組	環境保全啓発事業（出前講座等による環境保全活動の促進）		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・環境保全活動の啓発に向けて、広く県民を対象とした「おきなわ環境教育プログラム集」の普及・活用等を推進するとともに、学校教育においては、自然環境に親しむための体験学習や総合学習等を通して、次代を担う子どもたちの環境保全の意欲の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の環境教育の拠点である「沖縄県地域環境センター」において、県民の環境保全意識の向上を図るための環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を実施する。	県	沖縄県地域環境センターによる環境保全普及啓発活動の実施		
		出前講座等の活動回数(累計)		
		65回	67回(132回)	70回(202回)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://kankyo-center.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費				予算事業名 地域環境センター等管理運営等事業費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	20,784	16,227	県単等	委託	18,286
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
沖縄県地域環境センターによる環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を企画・実施した。				沖縄県地域環境センターによる環境情報の発信や各種環境保全啓発活動を企画・実施する。		

活動指標名	出前講座等の活動回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	79回	122回	81回	67回 (132回)	100.0%	順調	沖縄県地域環境センターにおいて、県内全域を対象に学校や地域等での出前講座や自然観察会、啓発イベント等の環境保全啓発活動を年間を通して実施した。また、センターのHPやセンター情報誌で環境情報を発信した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄県地域環境センターで「おきなわ環境教育プログラム集」等を用いて出前講座や自然観察会、啓発イベント等の各種啓発活動を目標値以上の81回開催し、環境学習・体験活動の機会を提供した。また、HPやセンター情報誌「島エコだより」(年3回発行)等で、環境教育プログラムの活用例の紹介、体験活動・体験イベント参加の呼びかけ、子どもエコクラブの活動の紹介をするなど、環境情報を発信したことから順調と判定した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○対象者のニーズや満足度等を把握するため、アンケート調査等を行うことで、各種啓発活動の向上につなげる。 ○リモートやオンラインでの啓発活動を継続して行うとともに、対象者のニーズに合わせた啓発活動を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者からの希望に応じて出前講座をリモート開催することができた。また、地域環境センターホームページやX、Facebook、Instagramで情報を発信することができた。 ・学校機関を対象とした出前講座では、学校機関の要望を事前に取り入れた上で、学校側の学習目的に沿った出前講座を開催することができた。 ・また、効果的な啓発活動とするため、近年問題となっており、話題性のあるマイクロプラスチックや防災(地球温暖化適応策)をテーマに、県民を対象とした体験学習を開催した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	地域に根差した啓発活動を展開するためには、沖縄県地域環境センターを中核に据えた事業を継続して実施する必要がある。	① 執行体制の改善	対象者のニーズや満足度等を把握するため、アンケート調査等を行うことで、各種啓発活動の向上につなげる。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	学校向けの啓発活動は、小学校・中学校・高校が主であったが、近年は盲学校やろう学校と連携した活動等を行うなど、啓発活動対象者が多様になっており、対象者のニーズに合わせた活動を展開する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	リモートやオンラインでの啓発活動を継続して行うとともに、対象者のニーズに合わせた啓発活動を展開する。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	啓発活動の多様化(リモートやオンライン開催等)に応じた事業展開を継続して行う必要がある。		

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○環境保全意欲の醸成に向けた普及・啓発
主な取組	ちゅら島環境美化促進事業（普及啓発）		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・ごみのポイ捨て・不法投棄の防止、海浜の節度ある利用等について、広く県民の環境保全意欲の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
空き缶や吸い殻等の散乱を防止し環境美化の促進を図ることを目的として、行楽シーズンや12月の年末大清掃の時期に合わせて、メディア、イベント等を活用した県民への普及啓発を図る。	県	環境美化に関する県民意識向上のための普及啓発活動等の実施		
		環境美化に関する啓発活動の実施数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	環境部環境整備課	【 098-866-2231 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/seibi/ippan/chura-seisou-top.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	ちゅら島環境美化促進事業			予算事業名	ちゅら島環境美化促進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
県単等	直接実施	2,709	2,709	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	2,672
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
ちゅら島環境美化全県一斉清掃及びその他のイベントと併せて広報活動を行い普及啓発活動を実施した。				ちゅら島環境美化全県一斉清掃及びその他のイベントと併せて広報活動を行い普及啓発活動を実施する。		

活動指標名	環境美化に関する啓発活動の実施数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		2回	3回	3回	2回(4回)	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

強化月間・各種イベント数については、強化月間では県庁ホール及び県立図書館においてそれぞれパネル展を開催し、11月の「おきなわアジェンダ21県民環境フェアinなは」でも普及啓発したことにより、計画どおり3回実施することができたことから、進捗状況を順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
各種イベント等については、多くの県民へ関心を持ってもらえるよう、県民ホールや県立図書館以外の場所でも実施する等、内容を工夫する。	強化月間において、県庁ホール及び県立図書館でパネル展を開催した他、多くの県民に関心を持ってもらえるよう、11月の「おきなわアジェンダ21県民環境フェアinなは」でも普及啓発を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	より効果的な普及啓発の方法を、各イベント・キャンペーン等において考案する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	各種イベント等については、多くの県民へ関心を持ってもらえるよう、引き続き、県民ホールや県立図書館以外の場所でも実施する等、内容を工夫する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ウ	多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進	施策	②環境保全の意欲の醸成
			施策の小項目名	○環境保全意欲の醸成に向けた普及・啓発
主な取組	県民参加型外来種防除の実施		対応する成果指標	①沖縄県地域環境センターの来場者数（講習会受講者数を含む） ②①のうち教育委員会等と連携して実施する講習会受講者数
施策の方向	・ごみのポイ捨て・不法投棄の防止、海浜の節度ある利用等について、広く県民の環境保全意欲の醸成に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
県民の外来種対策への参画を促進するため、県民参加型の外来種防除イベント等を開催する。	県	ツルヒヨドリ等外来種防除イベントの実施			
		外来種防除イベントの実施回数(累計)			
		3回	3回(6回)	3回(9回)	
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課		【 098-866-2243 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		外来種対策事業		予算事業名		外来種対策事業
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度	R6年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	438,829	434,753	一括交付金 (ソフト)	委託	425,822
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
大宜味村において、外来植物駆除イベントを開催する。また、グリーンアノール駆除体験イベントを2回開催する。				やんばる地域において、外来植物駆除イベントを開催する。また、グリーンアノール防除イベントを2回開催する。		

活動指標名	外来種防除イベントの実施回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	3回	3回	3回(6回)	100.0%	順調	外来植物防除イベントに54名、グリーンアノール防除イベントに2回にそれぞれ21名、17名の参加があった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値3回に対して実績値3回であり、目標を達成したことから取組は順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○より多くの参加者を集めるため、多様なイベントの開催や効果的なイベント情報の発信方法の検討等を行っていく。	より多くの参加者を集めるため、地元行政や地域、関係機関へ周知を図った。また、参加者がイベントにより満足いただけるよう、魅力的な記念品の作製及び配布に取り組んだ。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	多くの県民が本県の豊かな生物多様性を認識し、外来種対策の必要性について理解を深め、県民一丸となった取組に繋がっていくため、より一層、県民参加型の取組を充実させる必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	より多くの参加者を集めるため、多様なイベントの開催や効果的なイベント情報の発信方法の検討等を行っていく。